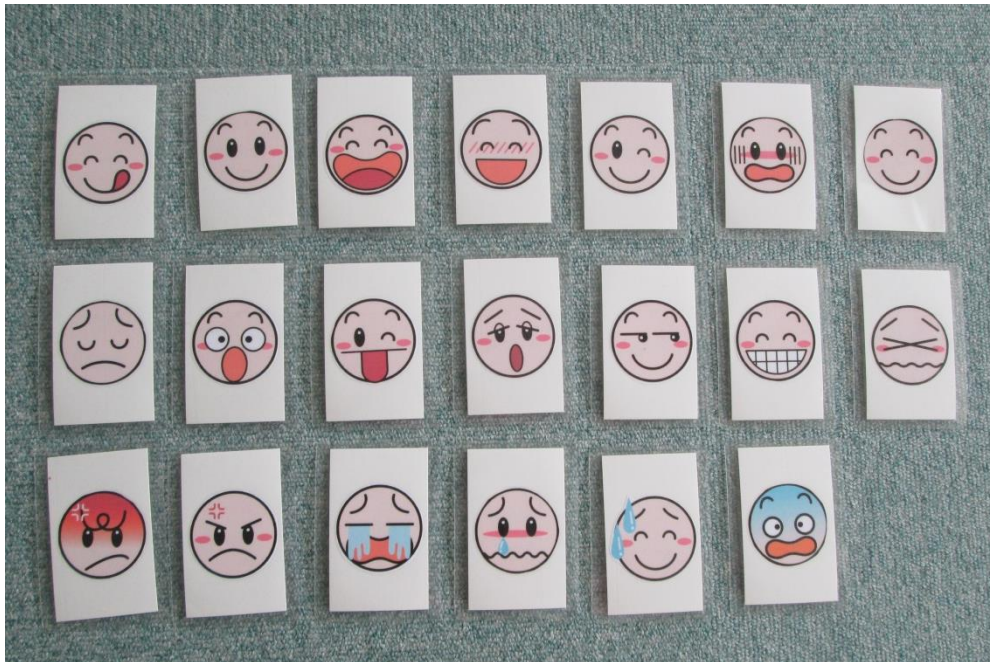


【教材名】

# 表情カード



【ねらい】 (4 環境の把握)(5 人間関係の形成)(6 コミュニケーション)

- コミュニケーション能力の向上
- 語彙を増やす
- 弁別、マッチング、手指の操作性の向上など

こんなお子さんに…

感情を伝えることが苦手だったり、読む、書くことが苦手だったりする子

【使い方】 実際の指導例

• 20種×2枚を一組になるように2セット作り、クラスを二つに分けて神経衰弱を行った。そろった際に絵柄に応じた台詞を言うようにし、感情の表現や言葉の学習を行った。

• 絵と同じ表情を（自分の顔で）作る、同じ絵を選ぶ（マッチング）、ババ抜きなど



【応用編】クラスの生徒、教員の顔写真カードを作成。同じように神経衰弱やババ抜きをして、その人のよいところを言ったらカードをもらえとし、人への関心や表現の広がりを目指した。